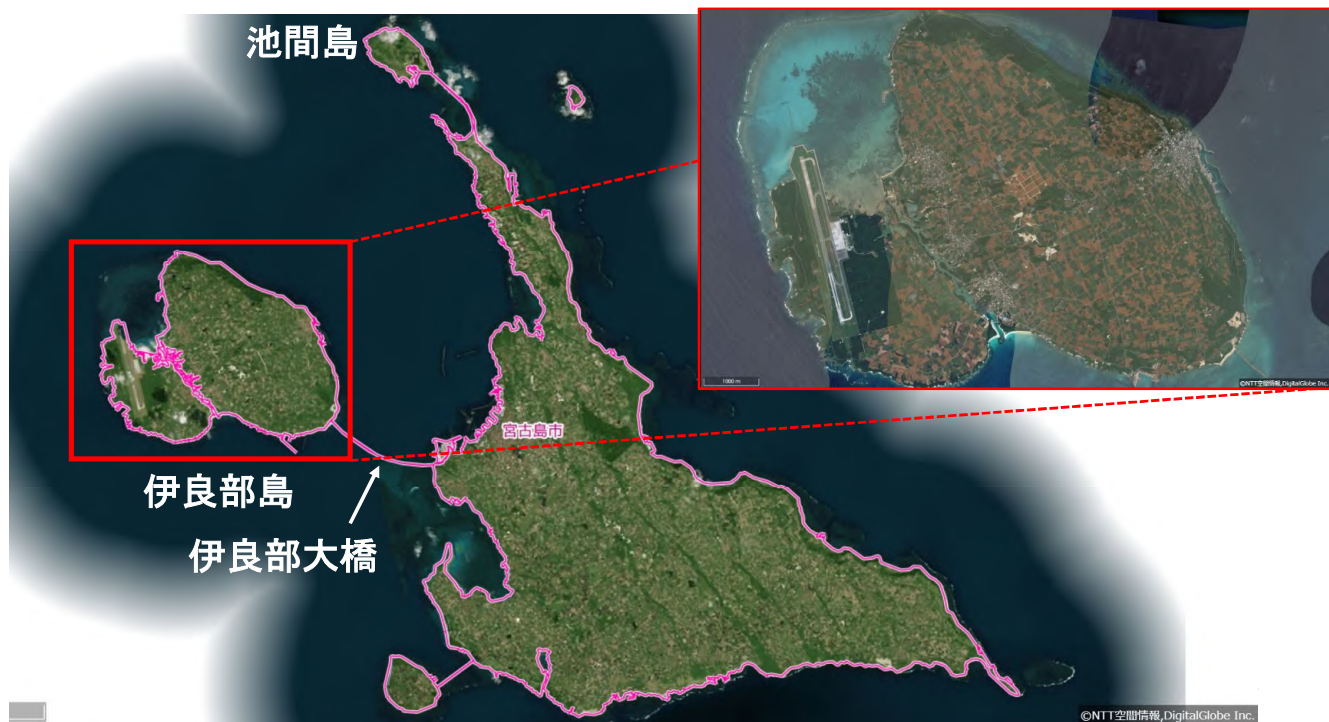


沖縄県宮古島市 伊良部南地区 ～新国際空港バブル下の島人防災～



令和元年度「津波防災の日」スペシャルイベント 発表 ～11月5日は「津波防災の日」～

伊良部島の紹介

<地域特性>

- ・宮古島の北西に位置し、宮古諸島の中では宮古本島について大きな島である。
- ・2015年の**伊良部大橋**（無料で通れる橋としては日本最長！）の開通により、宮古島から車やバスで行くことができるようになった。
- ・2019年3月には**下地島空港（みやこ下地島空港）**が開業し、**空前的ホテル新設ラッシュ**。**観光客が激増**している。
- ・北東にある佐良浜港周辺に2つと6本の橋でつながった下地島との間にある入り江周辺に**6つの集落**があり、その間には広大なさとうきび畑が広がっている。
- ・主な産業はカツオ漁を中心とした漁業とサトウキビなどの農業。
- ・島の周辺には**数多くのダイビングスポット**があり、宮古島からも多くのボートが訪れる。

伊良部島の災害リスク・課題

＜災害リスク＞

- ・居住エリアの大半で**～10mの浸水**が予測されている。

＜主な課題＞

- ・地区の住宅地の約半数及び下地島全域が**津波災害警戒区域**の指定範囲に入っている。
 - ・年1回防災訓練や市による防災講演が行われているが、地域のリーダーがいない。
 - ・伊良部大橋がかかり、南側がホテル建設ラッシュである。その地域は災害リスクが高く、危険である。
- 観光客の避難誘導や受け入れも課題！**



下地島空港 ホテル・リゾート



● 主なビーチ 伊良部大橋

伊良部南地区のこれまでの活動

◆ 地区防災計画作成の取組主体

- ・伊良部・仲地・国仲・長浜・佐和田の5自治会会長及び役員
- ・各自治会婦人会長・青年会長・老人会長・民生委員、
- ・社会福祉協議会、介護事業所、同地区出身市議会議員、
- ・同地区電設会社専務

◆ アドバイザー：跡見学園女子大学 鍵屋 一先生

＜7月15日、地区防災計画の趣旨や現状の課題について確認＞



伊良部南地区のこれまでの活動

<9月3日、ワークショップ>

◆ 津波災害に関して心配なことを考えました。

- ・ 外国人観光客向けの標識がない
- ・ 自分は避難可能な場所にいるのか
- ・ 一人暮らしの避難をどうするか・・・など



<10月15日、ワークショップ>

◆ 津波から避難するために必要なことについて議論しました。

- ・ 自治会ごとに逃げるルール、避難路を作る。
- ・ 津波の体験を、今の人達に伝えることが必要
～センターの津波避難タワーは危険！～
- ・ 移住者に自治会参加してもらい、災害リスクや避難路を知ってもらう・・・など



今後の予定

◆ 1月12日（日）次回ワークショップ

自分たち・移住者・一人暮らしの要配慮者の避難に向けて、具体的な対策を考える。

◆ 1月以降 地区防災計画骨子のとりまとめ

～ご清聴ありがとうございました～



伊良部島マラソン



渡口の浜



伊良部トーガニ